



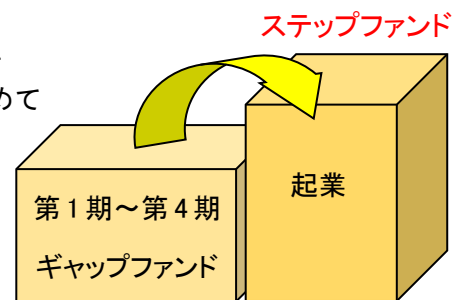
## 令和3年度第V期九大ギャップファンドと 新しく創設した九大ステップファンドの採択事業を決定しました

大学発ベンチャー事業シーズ育成支援プログラムは、起業を志す本学の教職員向けの学内独自プログラムです。本学の研究成果（知的財産）に基づく大学発ベンチャー創出促進を掲げ、2017年度より施行した九大ギャップファンドも第5期を迎え、このたび事業シーズ5件を採択しました。また、新たな学内助成事業として創設した、通称九大ステップファンドの第1期の採択結果についてもお知らせいたします（別紙参照）。

### ●新たな学内助成事業として「ステップファンド」を創設、第1期採択事業を決定しました

第1期から第4期までのギャップファンド採択経験者（起業済みを除きます）を対象に、本学独自の新たな助成事業「九大ステップファンド」を創設しました。その第1期として2件を新規に採択しました。

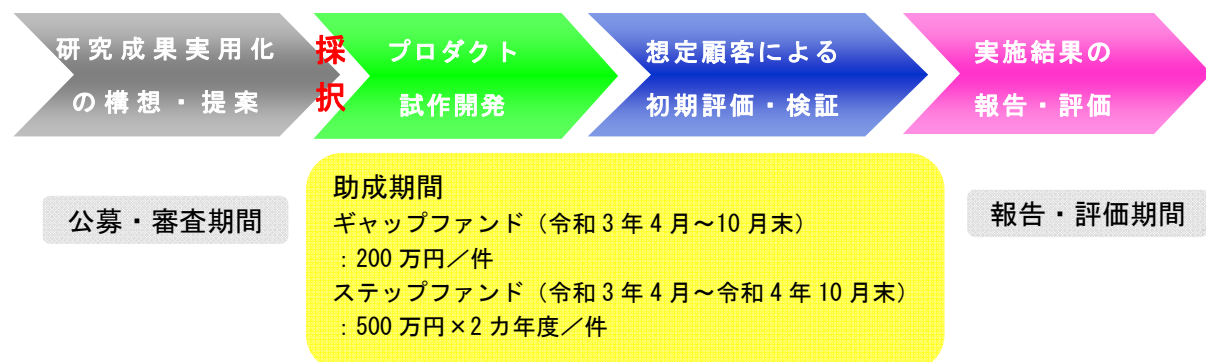
第1期ステップファンドは令和3年4月から令和4年10月末の1年7ヶ月間、起業に向けた事業化検証を進めて参ります。採択者はギャップファンドで得た知見をもとに更なる事業化検証を行い、起業までのステップアップを図ります。協力企業（事業会社）をパートナーとして連携しながら検証を行っていきます。



### ●令和3年度「大学発ベンチャー事業シーズ育成支援プログラム」採択事業決定しました

第5期ギャップファンドの事業シーズ5件を新規に採択しました。今後、ギャップファンドは令和3年4月から10月末の7ヶ月間、起業に向けた事業化検証を進めて参ります。

#### <プログラムの概要>



プログラム期間中は、九州大学／学術研究・産学官連携本部（AiRIMaQ）を窓口として、外部機関の支援を仰ぎながら事業化検証を進めていきます。プログラム期間終了後は、外部有識者から検証結果に対して評価・アドバイス等のフィードバックを得て、事業化を進めていく際の優位性や課題を明らかにします。なお、2020年度より未来化学創造センター（センター長 神谷典穂教授）の協力のもと、福岡市産学連携交流センター（FiaS）にてギャップファンド後の起業者を対象にシェアオフィスが開設されました。

昨年度実施した第4期九大ギャップファンドでは、採択事業シーズ7件の中から早くも1社（通算12社目）が起業し、その他の事業シーズも引き続き起業を視野に入れ事業化検証を進めています。九州大学は、平成28年度より学術研究・産学官連携本部内に組織化した大学発ベンチャー担当チームが主体となり、大学の研究成果を社会実用化していくための1つの手段として起業支援を展開しています。大学発ベンチャー担当チームは、発足後、民間事業会社やベンチャーキャピタル等の外部機関と連携し、起業前から起業後まで組織的に支援を行う体制を構築してきました。中でも、事業シーズの発掘から事業化検証までを行う九大ギャップファンドをコア事業として推進し、九大発ベンチャーの創出支援を実施して参ります。

---

**【お問い合わせ】**

学術研究・産学官連携本部 知財・ベンチャー創出グループ

TEL : 092-802-5143 FAX : 092-802-5145

Mail : [startup@airimag.kyushu-u.ac.jp](mailto:startup@airimag.kyushu-u.ac.jp)

## ＜第5期九大ギャップファンド 採択事業シーズ一覧＞

No.	所属	事業シーズの名称
	氏名(職名)	概略
1	先端医療オープンイノベーションセンター	顕微鏡下手術支援ロボットシステム 術野衝突防止支援装置の開発
	先端医工プロジェクト部門	<b>手術ロボットの精度や安全性を向上させる衝突防止支援装置を開発！</b>
	小栗 晋（学術研究員）	術野衝突防止支援装置を有する手術ロボットの実現により、安全で高精度な手術を可能にし、高難度手術の実施や医師のストレス軽減に貢献する。
2	比較社会文化研究院	天敵昆虫を用いた畜産害虫サシバエの防除法の開発
	環境変動部門	<b>畜産害虫サシバエの革新的な防除法を開発！</b>
	松尾 和典（助教）	サシバエを寄主とする特定の寄生蜂を用いることで、畜産物を感染症やストレスから守り、畜産農家の生産性向上に貢献する。
3	生体防御医学研究所	活性調整型 CRISPR-Cas9 による精密ゲノム編集技術と革新的遺伝子治療法の開発
	器官発生再生学分野	<b>自在に活性の調整が可能な新型 CRISPR システムを開発！</b>
	川又 理樹（助教）	活性調整型 CRISPR-Cas9 によりゲノム編集医療の安全性を向上させ、これまで困難とされていた多くの疾患の治療実現に貢献する。
4	工学研究院	微小バイオサンプルのワイドレンジ力計測システムの開発
	機械工学部門	<b>微小生体組織の機械特性計測が可能なシステムを開発！</b>
	佐久間 臣耶（准教授）	新たな機械特性計測プラットフォームにより、生体サンプルの品質評価、創薬プロセスや生体モデル開発の短期間化、低コスト化に貢献する。
5	工学研究院	糖鎖含有プラスチック抗体の開発
	化学工学部門	<b>安価で安定性の高いプラスチック抗体を開発！</b>
	三浦 佳子（教授）	精密な分子調整技術を用いて、安定的でより安価な抗体物質を開発することで、革新的な抗体医薬や検出試薬の開発に貢献する。

## ＜第1期九大ステップファンド 採択事業シーズ一覧＞

No.	所属	事業シーズの名称
	氏名(職名)	概略
1	工学研究院	電界誘起気泡を用いた医用デバイスの開発
	機械工学部門	<b>低侵襲薬剤インジェクターを開発します！</b>
	山西 陽子（教授）	独自の電界誘起気泡のオンデマンド生成技術と微細加工技術を駆使することで、医用デバイスの1つとして、“低侵襲薬剤インジェクター”の実用化を目指します。
2	先導物質化学研究所	血中循環がん細胞（CTC）を対象としたリキッドバイオプシーによる癌コンパニオン診断薬
	ソフトマテリアル部門	<b>血液からCTCを選択的に分離回収し、がん診断へ応用！</b>
	田中 賢（教授）	血中に多量に含まれる血球細胞を排除し、微量のCTCでも選択的に吸着、採取する技術。血液検査でがんの検診ができる健康長寿社会を実現する。